

**令和4年度 果樹茶業研究会**  
**「落葉果樹研究会」「寒冷地果樹研究会」「果樹病害研究会」「果樹虫害研究会」**  
**開催要領**

1. 開催趣旨

落葉果樹・寒冷地果樹及び果樹病虫害に係る試験研究の問題を取り上げ、技術情報の交換、研究課題の整理、研究手法の深化等を図る。また、果樹関係試験研究機関等の研究者相互の連携の強化や試験研究の効率化に資するため、本研究会を開催する。

2. 主催

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門  
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構植物防疫研究部門

3. 参集範囲

農林水産省、国立研究開発法人及び公設の試験研究機関、普及指導機関及び大学等の関係者、主催者が必要と認める者を対象とする。

4. 研究会の開催概要

令和4年度果樹茶業研究会は、ZOOMによるオンライン開催とする  
各研究会の開催日時は以下の通り

会議名	開催日時
全体会議	令和5年1月31日（火） 10:00～12:00
寒冷地果樹研究会	令和5年1月31日（火） 13:10～17:00
落葉果樹研究会	令和5年2月1日（水） 10:00～16:40
果樹病害研究会	令和5年2月2日（木） 10:00～17:15
果樹虫害研究会	令和5年2月3日（金） 10:00～17:00

5. 参加申込方法

Web上での申し込みは、令和4年12月23日（金）に締め切りました。

申込内容の変更、お問い合わせは、以下のアドレスをお願いします。

E-mail : kikaku-fruit04@naro.affrc.go.jp

## 6. 問合せ先

- 出席申し込み・果樹茶業研究会全般に関する問い合わせ  
農研機構果樹茶業研究部門研究推進部研究推進室  
E-mail : kikaku-fruit04@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6451
  
- 寒冷地果樹研究会に関する問い合わせ  
農研機構果樹茶業研究部門果樹品種育成研究領域 根角博久  
E-mail : nesumi@naro.affrc.go.jp 電話 : 019-645-6152
  
- 落葉果樹研究会に関する問い合わせ  
農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域 伊東明子  
E-mail : akiko@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6461
  
- 果樹病害研究会に関する問い合わせ  
農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 須崎 浩一  
E-mail : kcsuzaki@naro.affrc.go.jp 電話 : 019-645-6156
  
- 果樹虫害研究会に関する問い合わせ  
農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 三代浩二  
E-mail: mishiro@affrc.go.jp TEL: 029-838-6548

## 7. その他

- ZOOMの接続数には上限があります、上限を超える申し込みをいただきました場合は、ご参加をお断りする場合があります。1台のパソコンで接続して、複数の方で視聴いただくなど、同一場所での接続数を抑えていただけるよう、ご協力をお願いします。
- 各研究会の接続方法は、出席申し込みをとりまとめた上で、ZOOM接続者宛てにメールでお知らせします。
- 研究会ごとに接続方法（ミーティングIDとパスコード）が異なります。
- 接続方法をお知らせするときに「Zoom表示名」をお知らせしますので、必ずその名前を使用してください、ご参加ください（参加できない場合があります）。
- 各研究会の要旨は接続方法の案内とともにお知らせします。
- 各研究会の開始時間の1時間前から接続可能にします。

## 全体会議

テーマ「果実輸出の将来展望」

令和5年1月31日（火） 10:00～12:00

### 【趣旨】

我が国の輸出額目標は2025年に2兆円、2030年に5兆円となっており、その達成のため、令和2年11月に「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」がとりまとめられた（令和4年6月改訂）。その上で、現在の果実輸出に関する國の内外の情勢を共有する。また現在の輸出に対する取り組みから、戦略的に輸出拡大を図るには何が必要か、何を研究開発すべきかについて、検討を行う。

### 【話題提供】

#### 1. 「果実輸出の現状と課題（仮題）」

農林水産省農産局園芸作物課園芸流通加工対策室課長補佐（輸出促進班）三國 知

#### 2. 「日本青果物輸出促進協議会の取り組みについて－青果物輸出の特徴（10年間の変遷を踏まえて）」

日本青果物輸出促進協議会 事務局長 荻野 英明

#### 3. 「果実輸出促進に向けた研究の方向（仮題）」

農研機構NARO開発戦略センター 主任研究員 小柴 太一

## 寒冷地果樹研究会

テーマ「寒冷地果樹におけるデータ駆動型生産技術確立に向けて」

令和5年1月31日（火） 13:10～17:00

### 【趣旨】

寒冷地果樹産地における課題の現状やこれまでの技術開発の取り組みを踏まえ、持続的な発展を可能にする技術体系確立に向けて、情報共有と論議を進めることでより一層の連携と研究推進を図る。

### 【プログラム】

#### I. 基調講演

座長：根角 博久（農研機構果樹茶業研究部門）

気象を予測する技術の進歩とその活用に向けた展望（仮） （13:10～14:10）

つくば大学計算科学研究センター 教授 日下 博幸

#### II. 話題提供

座長：守谷 友紀（農研機構果樹茶業研究部門）

1. 落葉果樹における生育予測および凍霜害危険度推定モデルについて （14:20～14:50）

福島県農業総合センター果樹研究所 佐久間 宣昭

2. 生産指導のためのデータの集積と活用方法について （14:50～15:20）

J A全農長野 生産振興部生産振興課 玉井 浩

3. 生育園地の環境データに基づく高品質生産技術の検討 （15:20～15:50）

農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域 花田 俊男

4. 青森県中南地域におけるりんごスマート農業技術の経営改善効果の実証

（15:50～16:20）

青森県産業技術センター りんご研究所栽培部 古川 祥太

#### III. 総合討論

座長：岩波 宏（農研機構果樹茶業研究部門）

（16:20～17:00）

## 落葉果樹研究会

「最近の落葉果樹の諸問題の解決に向けて」

令和5年2月1日（水） 10：00～16：40

### 【趣旨】

落葉果樹の栽培分野に関連して、樹種別に①ブドウ、②カキ等、③ナシ、④核果類、樹種共通として⑤スマ農、のセッションを設け、最近のトピックス等の話題を提供し、情報共有と論議を進めることで、落葉果樹栽培分野のより一層の推進を図る。

### 【話題提供】

#### ①ブドウ（10：10～10：50）

- 1) 加温栽培ブドウ「シャインマスカット」における糖度上昇を目的とした植物生育調節剤処理方法の検討  
島根県農業技術センター 高橋利幸
- 2) ブドウの摘粒作業を効率化する粒数の自動判定 AI 技術  
山梨大学工学部 茅 暁陽

#### ②カキ等（10：50～11：50）

- 1) 「早秋」における「静力台2号」台及び主幹仕立てによる栽培管理の省力効果  
静岡県農林技術研究所 果樹研究センター 荒木 勇二
- 2) カキ「秋王」のブランド化に向けた取り組み  
福岡県農林業総合試験場 果樹部 竹村 智佳
- 3) イチジク属野生種の種間雑種を利用した株枯病抵抗性台木の育成  
農研機構果樹茶業研究部門 薬師寺博

-----昼休み-----

#### ③ナシ（13：10～14：10）

- 1) ニホンナシのジョイントV字トレリス樹形による早期多収と省力化  
神奈川県農業技術センター 関 達哉
- 2) ナシ「幸水」の早期収量確保を可能とする列植技術（仮）  
茨城県農業総合センター園芸研究所 山口貴史
- 3) ニホンナシ「幸水」の幼木期における台木別の地上部の樹体生育特性（仮）  
佐賀県果樹試験場 加藤 恵

#### ④核果類（14：10～15：10）

- 1) 水害等によるモモの枯死症状について  
福島県農業総合センター果樹研究所 高橋堯之
- 2) モモの急性枯死症が発生する圃場の特徴（仮）  
岡山県農業研究所 森次真一

- 3) 山梨県におけるモモ枯死障害の発生実態および、各種台木が発生や生育に及ぼす影響  
山梨県果樹試験場 池田博彦

-----休憩 20分-----

⑤スマート農業（15：30～16：30）

- 1) 先端技術導入による中山間地域の特産品生産スマート化への展開（仮）  
近畿大学 松野 裕
- 2) スマート農業技術によるデラウェア栽培の省力化・高品質化と大粒ブドウ品種導入拡大  
大阪府 中部農と緑の総合事務所 農の普及課 有吉恵子
- 3) メッシュ農業気象データを利用した低温積算時間アプリの開発  
農研機構果樹茶業研究部門 杉浦裕義

## 果樹病害研究会

「近年問題となっている果樹病害とその対策」

令和5年2月2日（木）10：00～17：15

### 【趣旨】

「みどり戦略」に向けた防除技術の開発、新病害への対応、気候の変動に伴う防除体系の見直し、薬剤抵抗性対策など、果樹病害防除の現場において様々な対応が求められている。本研究会では果樹病害分野について、①リンゴ、②ナシ、③モモ、④ブドウ、⑤カンキツ 等における最近の病害発生動向や対応策などの情報共有を図り、今後の連携を模索する。

### 【話題提供】

- 1) 「リンゴ黄腐病の原因とその対策」 （仮題） (10：00～10：20)  
秋田県鹿角振興局農林部 佐藤 裕
- 2) 「愛媛県におけるこれまでの果樹病害研究」 （仮題） (10：20～10：40)  
愛媛県農林水産研究所 篠崎 毅

～ 休憩（5分） ～

### 3) 各県における病害発生状況とその対策（仮）

#### — リンゴ —

- 青森県 (10：45～11：00)
- 岩手県 (11：00～11：15)
- 長野県 (11：15～11：30)

#### — ナシ —

- 千葉県 (11：30～11：45)
- 茨城県 (11：45～12：00)

～ 昼休憩（60分） ～

- 鳥取県 (13：00～13：15)

#### — モモ —

- 福島県 (13：15～13：30)
- 岡山県 (13：30～13：45)

#### — ブドウ —

- 山梨県 (13：45～14：00)
- 福岡県 (14：00～14：15)

#### — カンキツ —

- 静岡県 (14：15～14：30)
- 熊本県 (14：30～14：45)
- 佐賀県 (14：45～15：00)

～ 休憩（10分） ～

- 5) 自由発表 (15:10~16:10) 15分×4課題程度。事前申請による。
- 4) 農研機構における研究の現状
  - 盛岡 — (16:10~16:25)
  - つくば — (16:25~16:40) ※グリーンング病含む
  - 安芸津 — (16:40~16:50)
- 6) 総合討論 (16:50~17:15)

#### 【会議の進行について】

- 1) 新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、今年度の果樹病害研究会は寒冷地、落葉、常緑（グリーンング病研究会を含む）を合わせて完全オンラインで実施します。会議ソフトはZoomを使用します。なお接続方法につきましては追ってお知らせします。
- 2) 各機関に割り当てられた各樹種に関する話題提供を、発表10分、質疑応答5分で進行します。
- 3) 割り当てに該当しない話題提供については、自由発表枠にて手挙げ式で実施します  
(いずれの県・樹種でも可。11月30日までに発表希望を事務局に事前連絡のこと)
- 2) 講演要旨とともに円滑な会議進行のため質問票を事前に配布します。講演内容について質問のある場合、別紙3 質問票にご記入の上、令和5年1月23日（月曜日）までにE-mailで以下の問い合わせ先までお送りください。
- 4) 果樹病害研究会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。

#### 【資料・要旨・プレゼンファイルの提出】

- 別紙1（資料1）参加される公設試の果樹病害関係者は必ず提出ください。
- 別紙2（資料2）話題提供者は、発表要旨として提出。
- パワポファイル：話題提供者は提出。
- 締め切り
  - ・資料1・2は、令和4年12月23日（金）までにメールにて下記問い合わせ先までお送りください。
  - ・パワポファイルはCD-Rにて1月20日（金）まで、同じく下記まで送付ください。

※別紙1～別紙3は以下のURLからダウンロードしてご利用ください。

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

※資料の配布について

- ・資料1は提出いただいた公設試の機関のみ配布します（提出のない場合には配布しません）。
- ・資料2は参加者全員に配布します。なお講演用パワポファイルの配布はしません。

(果樹病害研究会問い合わせ先)

〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷92-24

農研機構植物防疫研究部門果樹茶病害虫防除研究領域 須崎 浩一

E-mail:kcsuzaki@affrc.go.jp、電話：019-645-6156

# 果樹虫害研究会

「寒冷地・常緑・落葉果樹害虫の発生と研究動向」

令和5年2月3日（金）10:00～17:00

## 【趣旨】

近年、新たな害虫の侵入・定着への対策や、気候の変動に伴う生息域の拡大、防除適期の見直し、薬剤抵抗性対策など、果樹害虫防除の現場においても、様々な対応が求められている。

寒冷地、常緑・落葉果樹の害虫を総合的に取り上げる果樹虫害研究会では、重点検討テーマとして「今年度多発生した果樹カメムシ類の発生動向と対策」について各県等からの話題を募る。また、特別講演として、農林水産省が設定した「みどりの食料システム戦略」の病虫害防除に関わる目標では、2030年までに化学農薬使用量（リスク換算）を10%低減、2050年までに50%低減、とすることに関し、特別講演として、日本植物防疫協会及び農業環境研究部門からご講演いただく。そのほか、最近の果樹害虫の発生動向やその対応への取り組みについても各県等から話題を募り、全国規模での情報交換を行う。これにより、果樹害虫防除に関する新たな問題点などの情報を共有するとともに、その解決方法についても意見交換を行う。

## 【話題提供】

### 1. 重点検討テーマ「今年度多発生した果樹カメムシ類の発生動向と対策」

#### 1) 近年増加しているツヤアオカメムシの生態と生物的防除の可能性

明治大学農学部教授 糸山 享

#### 2) 令和4年度注意報発出県からの報告

・和歌山県果樹試験場 松山尚生

・神奈川県農業技術センター 川田祐輔

・島根県農業技術センター 澤村信生

・岐阜県農業研究センター 杖田浩二

・大分県農林水産研究指導センター 玉野井昭

#### 3) クサギカメムシ合成集合フェロモン剤を用いた高感度な果樹カメムシモニタリングの可能性

農研機構植物防疫研究部門 降幡駿介

※情報提供の申し込み状況によって変更の可能性があります

### 2. 特別講演

#### 1) 農薬を取り巻く情勢と新たな評価・規制について

一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所 所長 天野昭子

#### 2) 水圏生態系に対する農薬のリスク評価について

農研機構農業環境研究部門 永井孝志

### 3. 各県等における最近の課題

令和4年度の果樹害虫発生動向、防除技術、防除に関する問題点などに関わる課題を広く募集する。

#### 【開催方法について】

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、今年度の果樹虫害研究会は完全オンラインで実施します。会議ソフトはZoomを使用する予定です。接続方法につきましては追ってお知らせします。

#### 【発表課題の募集について】

- 1) 発表は学会に準じた形式で行い、質疑応答を含めて、1 課題あたり15分～20分程度を予定しています。申し込み者多数の場合には、発表時間や発表者数を調整させていただきますので予めご了承下さい。
- 2) 内容は特に指定いたしません。各研究機関で重点的に取り組んでいること、新規に発生が認められた害虫、最近増加してきた害虫、防除等での対応に苦慮している害虫、新しい防除技術等々、果樹害虫全般について情報交換・意見交換をしたいことであれば何でも結構です。お気軽にお申込み下さい。
- 3) 発表を希望される方は、別紙4の「虫害「情報交換」課題発表申込書」に必要事項をご記入のうえ、E-mailで農研機構植物防疫研究部門 果樹茶病害虫防除研究領域 三代浩二（mishiro@affrc.go.jp）までお送り下さい。資料の提出期限は令和4年12月23日（金）です。

※果樹虫害研究会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。

※別紙4の課題発表申込書は以下のURLからダウンロードして利用可能です。

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

(果樹虫害研究会問合せ先)

〒305-8605 茨城県つくば市藤本2-1

農研機構植物防疫研究部門検疫対策技術グループ 三代浩二

E-mail: mishiro@affrc.go.jp TEL: 029-838-6548